家庭用エアコンの取外し等に関する安全確保　報告書概要

● 協議の背景

⑴ 家庭用エアコンは一世帯あたり 2.68 台普及している。
⑵ 毎年、省エネ性能の高い新製品が 700～800 万台出荷され、約 500 万台が廃棄されており、移設の機会も増加している。
⑶ エアコン室外機破裂（コンプレッサ破裂）が毎年発生している。
⑷ コンプレッサ破裂の威力は大きく、発生すれば危害は甚大である。
⑸ エアコンの取外しは、専門的な技術が必要なため、手順を誤るとコンプレッサ破裂が発生するおそれがある。
⑹ インターネット上には、工事費節約のため、消費者に取外しを勧めるサイトも存在する。

【破裂したエアコンの室外機】

【エアコン室外機破裂事故（事故情報データバンク）】

発生年月	事故概要
H23/9	引越しのため、ルームエアコンを業者に取外してもらっていたら室外機が破裂音とともに壊れ、窓にヒビが入った。
H23/8	エアコンの修理作業中、室外機が破裂し、家人と作業者が軽傷を負った。
H22/7	エアコン室外機を取り外していたところ、室外機が破裂し、左足に軽傷を負った。
H21/7	エアコンの修理作業をしていたところ、室外機が爆発し、外壁の一部が破損した。
H21/4	エアコンの展示会場で撤去作業をしていたところ、エアコン室外機の圧縮機が破裂し、３人が軽傷を負った。
H20/7	修理業者がエアコンを運転しながら故障箇所を確認中に、室外機の圧縮機が破裂した。

【インターネット上のサイト記載例】

■エアコンを取り外してみませんか

エアコン取外し工事と処分には、次の費用がかかります。
●取外し工事（6,000 円）
●運搬費（3,000 円）　　**合計　11,100 円！**
●法定家電リサイクル料（2,100 円）
自分で取り外してリユースすれば、この費用が節約できます！
※日曜大工程度の経験があれば大丈夫。取外しの手順は写真入りで説明します。
※取外したエアコンは有価で引き取ります。
※エアコンを外す場合にはご自身で安全を確保してください。取外し時の事故や怪我などは一切責任を負いかねます。

● 意識の違い

【事業者の意識】
事業者は、エアコンの取外しについて専門知識をもった技術者が作業すべきで、消費者自身の作業はそもそも想定していない。

【消費者の意識】（インターネット調査による）
・自分や家族などが取外した経験有（5%）
・自分や家族で取外してみたい　　（33%）
・コンプレッサ破裂のおそれの認知度（15%）
・冷媒回収の必要性があることの認知度（43%）
・移設や廃棄などで取外しの際に「どこに依頼するか分からない」（35%）

● 課題・・・エアコンは毎年大量に供給され、消費者自ら取り外す可能性もあるため、未然防止を図る

- エアコンの取外しを消費者自らが行うことは危険
- 消費者が自ら取外し作業をしないよう呼びかけ、安心して作業を依頼できる体制の整備
- エアコンは他の家電とは異なり、取外し時に重大な事故に繋がるとの認識を高めることが重要

★ 提言【今後取り組むべき事項】

①消費者行動を変えるために
〇コンプレッサ破裂に関する情報提供
〇消費者自ら取り外すことの危険性を周知
（あわせて二酸化炭素の 2,000 倍もの温暖化効果がある指定冷媒（代替フロン）放出防止についても啓発）
〇安全な取外しが依頼できる電器店等の紹介などの情報提供

・リーフレット等を作成し、販売店等の協力を得て、店頭での配布等の取組を要請
・関係事業者団体による安全な取り外し（移設・廃棄等）相談体制の整備促進
・引越し事業者、自治体窓口を通じた広報など、より効果的な情報提供を行うよう検討

②事業者への安全徹底の要望
〇機器本体への警告表示の推進
〇取扱事業者に対する安全徹底（←上記事故例のうち５例は事業者のミスによる）

・製造事業者による機器本体への警告表示の推進
・関係事業者団体による関連の取扱事業者への安全徹底